

おおたき

広報

PUBLIC RELATIONS

2006.12
No.9

平成18年12月1日発行
[毎月1日発行]

おもな内容

- 開市記念式典を挙げる… ②
- 平成18年度 市政功労者表彰… ④
- 平成17年度 決算の概要… ⑧
- 若者向け就職支援講座… ⑫
- 移動市長室参加者募集 ほか… ⑬
- まちの話題 My Town Topics… ⑭
- 自慢の逸品… ⑯
- 情熱大崎… ⑰
- 生涯学習… ⑱
- お知らせ… ⑳
- 健康・子育て… ㉓

おおたき 探訪

vol.9 田尻
Tajiri

表紙の写真・
蕪栗沼 6万羽を超える
渡り鳥の飛び立ち

おおさき
探訪
vol.9 田尻
Tajiri

大自然の本物の営みが
大きな感動をもたらす
田尻地域「蕪栗沼」



日中はたんぼで過ごすマガンたち
時に力強い羽ばたきを見せてくれる

まだ、夜も明けぬ午前5時。田尻地域の蕪栗沼は、マガンたちの鳴き声で少しずつにぎやかになっていきます。「ねぐら」である蕪栗沼で夜を過ごしたマガンたちは、暗がりの中、飛び立ちの準備を始めます。

東の空がうっすらとオレンジ色に染まり始め、夜が白々と明けだしたころ、これまで聞いたこともないほどの鳥たちの声が交錯しだします。そして誰かが「今だ」と合図をしたかのように、6万羽を超えるマガンたちが、「ブーン」という羽音をうならせ、一斉に蕪栗沼を飛び立つのです。

V字形や一列に並んだマガンの無数の編隊が、朝もやの中、「えさ場」となる稲刈りを終えた周辺のたんぼに向かっていくその光景は、普段なかなか目にすることができない大自然の本物の営みとして、見るものに大きな感動を与えてくれます。

蕪栗沼は、田尻地域の北東に位置し、周囲をたんぼに囲まれた面積約150haの湿地です。昨年11月、蕪栗沼と周辺の水田が「ラムサール条約登録湿地」に認定されました。

ラムサール条約登録湿地になるまで、その環境が守られてきた蕪栗沼ですが、最近は一躍脚光を浴びたことで、全国からバードウォッチングをはじめとする見物客が多く訪れるようになりました。しかし、それと同時にごみのポイ捨てなどが増え、環境悪化が危惧されています。

このすばらしい自然環境を長く保ち、世界に誇る渡り鳥の楽園を多くの人に見ていただくためには、訪れる皆さんのマナーの向上が必要不可欠です。見に行く場合は、鳥を驚かせないよう、ゆっくりと静かに行動し、車のライトやカメラのフラッシュにも気を配り、エサは絶対やらないなど、最低限のマナーを守ってください。また、防寒対策や冬用タイヤの装着も行ってください。

11月は、夕方に蕪栗沼に鳥たちが一斉に帰ってくる「ねぐら入り」が、12月は、朝の「飛び立ち」がとてもきれいに見ることができます。観察を堪能したい人には、「蕪栗ぬまっこくらぶ」のガイドツアーがお勧めです。

☎ 田尻総合支所産業振興課 ☎ 39-1115



野鳥そして蕪栗沼のファンが
全国から訪れる



白鳥をはじめ、様々な
野鳥がひと冬を過ごす



沼一帯が暁に染まる夕暮れ
鳥たちのねぐら入りも間近



大小色とりどりの木の実、
希少な植物にも出会える